

日露戦争戦没者矢野村葬の村長弔辞

矢野町下田の大牧様より、明治37年9月30日に行われた日露戦争戦没者村葬での弔辞を綴った古文書を寄贈していただきました。そのなかに、山島亭助矢野村長の弔辞があります。

弔辞

恭シク清酌ノ奠以テ、矢野村出身軍人中、日露戦役殉難諸士、兼塚善太郎、池田常吉、勝谷林太郎、古幸伊之助、藤田一二士等ノ靈ヲ吊フ。

嗚呼、諸士、軍ニ從フテ遠ク異境ニ入り一死国難ニ殉シテ身ヲ天涯ニ埋ム。

満州ノ山渤海ノ風雨惨憺、忠魂忽チ郷ヲ望ム。嗚呼、哀哉。

然リト雖モ義勇公ニ奉シ能ク身命ヲ鴻毛ノ軽キニ比スルハ、真ニ是丈夫ノ本領タリ。

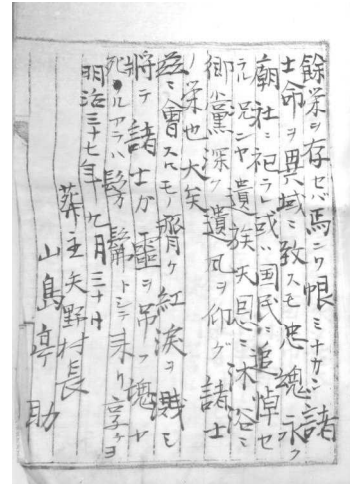
嗚呼、諸士等挺ンジテ実戦ニ祭り太リ其素望ヲ全フシ為ニ国力偉大ニ振ヒ国威盛ニ揚ル。是レ素ヨリ 聖詔ノ高德ニ因ルト雖モ抑亦諸士等軍人忠勇義烈ノ結果ニ依ラスンバアラス。是ヲ以テ、朝廷功ヲ論ジ賞ヲ行フ。人生ノ光荣之レニ過ルハナシ。

人皆死アリ。老幼限リナシ。死モテ余榮ヲ存セバ焉ニワ恨ミナカン。諸士命ヲ異域ニ致スモ忠魂永ク廟社ニ祀ラレ或ハ国民追悼セラル、況ヤ遺族天恩ニ沐浴シ郷党深く遺風ヲ仰グ諸士ノ榮也。大矣。

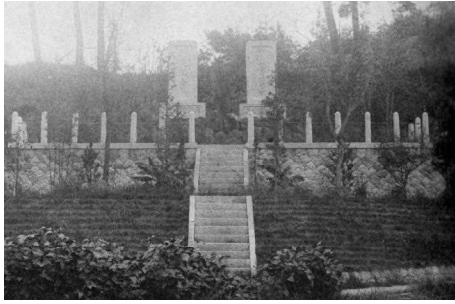
茲ニ会スルモノ齊ク紅涙ヲ賤シ将テ諸士ガ靈ヲ吊フ、魂ヤ死ルアラハ髣髴トシテ来リ享ケヨ

明治三十七年九月三十日

葬主矢野村長 山島亭助



日露戦争は明治37(1904)年2月から明治38(1905)年1月まで戦われました。明治37年9月は、旅順要塞の攻防戦が続いていた頃です。戦死されたうちの一人は兼塚善太郎氏です。金坂村の墓地に氏の碑があり、山島村長の書による碑文が刻まれています。碑文には「明治37年2月、第十連隊に召され、旅順の太平嶺の戦いで分隊長として奮戦中敵弾右眼を貫くも、なお左眼と大和魂ありと前進ついに倒れる。功七級金鵄勲章を受け、金坂村が碑を建てる」とあります。



大正2(1913)年、矢野村は菅谷尋常小学校跡地に紀年碑として日清戦争・日露戦争の戦役記念碑と山島亭助初代村長の頌徳碑を建立しました。

現在、戦役記念碑は菅谷の高台にある忠魂碑の横に移設され、村長頌徳碑はテクノラインの道端に歴代村長頌徳碑と並んでいます。

郷土の偉人を紹介しています

歴史民俗資料館では、古代から現代まで相生市の歩みを一覧できるようにしています。二階の「郷土の偉人」を紹介している部屋では、福田眉仙、水守亀之助、佐多稲子、浦山貢・桐郎を紹介しています。写真は、佐多稲子と相生の関わりをまとめたコーナーです。



歴史民俗資料館のホームページ

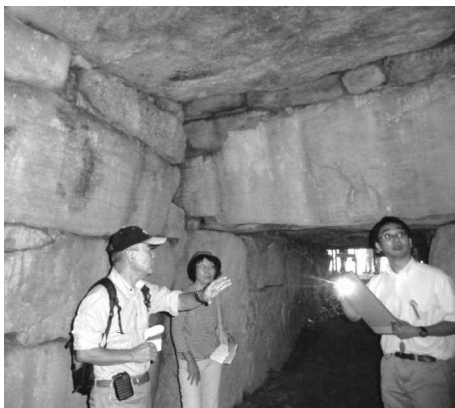
歴史民俗資料館の展示リニューアルにあわせて、ホームページを作りました。

<http://www2.aioi-city-lib.com/bunkazai/siryoukan/index.html>

ヤフーの検索では「相生市立歴史民俗資料館ー相生市立図書館」というところをクリックしますと歴史民俗資料館のホームページが開きます。



史跡めぐりで古墳を見学しました



9月26日、歴史資料館の歴史講座で史跡めぐりをしました。今回の参加者は9名、歴史民俗資料館学芸員の案内で、大塚ハザ古墳・塚森古墳・那波野古墳を見学しました。写真は、那波野古墳の横穴式石室の内部、天井が一枚の巨石で作られていて感動しました。

次回の史跡巡りは10月23日(木)、下土井の大避神社・水守亀之助の生家跡などを見学します。

史跡めぐりの申し込みは、歴史民俗資料館 TEL23-2961 参加費無料 先着20名まで